

目次

- 1面 会長あいさつ
- 2面 ワハハ寄席
- 3面 ふるさと祭り&ユーカリフェスタ
- 4面 県外視察研修
- 5面 地区懇談会
- 6面 愛Loveファミリー



発行者
佐倉商工会議所女性会
会長 井野口 綾子
A.D. 佐倉市表町 3-3-10
商工会議所内
TEL. 043(486)2331
FAX. 043(486)5963



一年の短さを実感する師走となりました。
女性会の皆さまには、何時にも増して、パワフルな活躍をされておられることと、お喜び申し上げます。
昨年十一月にスタートいたしました新体制での活動も、早や二年目を迎えます。たどたどしい歩みではありましたが、会員の皆さまから思いもよらぬ程の温かく力強いご支援をいただき、新しい事業にも取り組むことが出来ましたことは、誠に有難く心より御礼を申し上げます。

温かく力強い ご支援を頂き

大切に培われた二十年の絆は、しなやかで強く、確かなものであることを強く感じた一年でもありました。

当初から女性会を継承する任を重く捉え、皆さまの望まれる魅力的な会であり続けたいと念じておりました。

ご意見を反映 させるために

会員交流の中から生まれるアイデアやご意見を、会の活動に反映させることが出来るよう役員の方々も真剣に取り組んで下さいました。

楽しい企画をとのご希望が入船亭扇好師匠をお迎えしての「さわやかワハハ寄席」の実現となりました。演題はお馴染みの「ちりとてちん」。師匠の熱演で約六十名の皆さまが笑いの虜となり、和やかな交流を楽しんで下さいました。

交流の機会を増やすことで会員

女性のひたむきな力を 存分に発揮して

(株)井野口建材 佐倉商工会議所 女性会 会長 井野口綾子

相互の理解が更に深まることを願って、慎重な審議を重ね恒例であった一泊県外研修を、年二回の日帰り研修に企画変更をさせて頂きました。第一回の研修場所は、三井アウトレットパーク入間と(株)ロッテ狭山工場でした。

アウトレットでは、最新の市場動向や商品ディスプレイ、接客法など、今の風を自店流にアレンジし活用されており大変参考になりました。二回目は造幣局を中心とする都内研修でした。商工業に携わる私達にとって縁の深い貨幣の製造工程は興味深く、その大切さを再認識いたしました。

また、かつて開催されていた商工まつりの様に会員の結束を深めながら、少しでも地域貢献に繋がる活動を模索するなか、主催者のご理解を頂き、地域のイベントにも参加させて頂きました。参加をするにあたり、楽しい雰囲気作りを目標に事前特訓を経て「フェイスペインティング」チームが誕生しました。その中心になって活躍さ

れたのは会員のお嬢様達でした。爽やかな笑顔で手際良く頬や腕に描かれるキャラクターに、地域のお子様達は目を輝かせていました。若い方達とのコラボレーションは活気に溢れ、楽しく充実したものでした。女性会が提唱した二世事業への未来に明るさを見た思いで、今後に繋がる期待を大きく感じることが出来ました。

そして女性会の根幹をなす大切な事業である地区懇談会は、佐倉、白井、志津の各地区とも素晴らしい企画がなされ担当地区の総力を結集しての見事なチームワークは女性会ならではのものです。どの事業にも初参加の方が多く感謝の気持ちで一杯です。

会の活動を共有する橋渡しとなる広報紙「さろん」の広報委員も、今号より新委員の皆さまが担当となり、張り切ってご活躍をされています。

支え合える 仲間とともに

厳しい経済情勢が続いておりますが、こんな時にこそ勇気を出して支え合える仲間とともに、女性のひたむきな力を存分に発揮して乗り越えていきませんか。

ワハハ寄席

出逢いと楽しい時間を過ごすことができる幸せ

ワハハ寄席に参加して

七月九日開催 栄養倶楽部 柴田季美代

今年の四月に女性会の仲間入りをさせていただき、事業へは初めての参加でしたが、会場となった「老人憩いの家千代田荘」の入口では、会員さんに出迎えていただきました。駐車場でも、とても気持ちのいい誘導をしていただき、まずもって皆さまの心遣い・気配りに驚きました。



「笑う門には福来たる」とか、「楽しいから笑うんじゃない、笑うから楽しくなるんだ」などと言われてきましたが、私も同じ人生だったら楽しい人生のほうが

いい、と常に思っています。最近のお笑いブームで、テレビでよく見かけられるお笑い芸人を観ていると、この人達のどこが面白いのだろうか?と思うことが度々あります。(くだらなすぎて笑ってしまうこともあります)。私の世代と、笑いの質が違うのかな?と感じています。



今回、お招きした入船亭好師匠の表情、話し方、動作やテノボは、すべてにおいてさすがだなあと、聞いている自分も同じ表情になり、気持ちが伝わってきます。

この歳になったからこそ、感じられることも多く、久々に大笑いしてしまいました。

ワハハ寄席について
福利厚生事業として、「誘い合って、来やすく、気軽楽しめる」をコンセプトに『落語を聞く会』を計画しました。
落語を選んだのは、会員の皆さんに思い切り笑って、ストレスを吹き飛ばし、明日への活力になればと思ったからです。
年間事業とは別に、自主運営は初めての事で、会場選び・出演依頼等慣れない事ばかりでしたが、白井在住の方の協力でも、スムーズに進み、五十五名の参加で開催されました。
地区の会員さんの協力もあり、大盛況のうちには終わりました。

最後にくじ引き大会もあり、とても楽しい集いでした。たくさんの方々との出逢いがあり、こんなに楽しい時間を過ごせる私は幸せだな、と思える一日でした。

若い二世の女性たちと

フェイスペインティング

オフィスK&M 高山公子

十月二十六日、朝から曇りがちな天候にもかかわらず、オープンングセレモニーの時には多くの方々が集まってくださり、にぎやかなユーカリフェスタとなりました。今回女性会は、顔や手などに様々

な絵を描く「フェイスペインティング」で参加させていただきました。私たち女性会のブースの前には、子供達が列を作って並び、自分の顔や手に何が描かれるのかと、緊張した顔〜!でも、出来上がった絵と自分の顔を、鏡で確認して喜んでいただきました。私たちにとっても、楽しい一日となりました。

商工議所女性会と言えば、今まで

会員主体で行事を行ってきましたが、今回はその方々の二世である若いお嬢さんたちが数多く参加してくれました。幅広い年齢層の方々とも接することができ、人との関わりや協調性を学んでくれたものと思います。女性も社会の一線に出て働く時代、良い学びの場となったことでしょう。今後若者のパワーが地域に活かされていくことを期待したいものです。

これは娘陽子の感想ですが「来年社会人になる私にとって、とても充実した、貴重な経験となりました。今後も女性会や地域の皆さまとふれあう機会を大切にしていこうと思います。」



ふるさと祭り&ユーカー

嬉しく、心温まる瞬間

(有)板倉自動車 板倉美佳

今回、八月二十三日で開催された白井ふるさと祭り、女性会がフェイスペインティングを実施するとの事で、女性会に所属している義母から誘いを受け、お手伝いをさせていただく事になりました。

喜んでお受けしたものの筆で絵を描く事は得意ではなく、人のお顔に描くなんて本当に出来るのかと不安になりました。何度か練習会が開かれ、図案を決めたり、自分の腕に描いてみたりしました。家でも子供達の顔で練習させてもらいました。子供達も筆を持ち出し、最終的には落書き(楽書き)大会となっていました。



お祭り当日は、楽しみなのと同時に初めての行いに不安でいっぱいでした。小雨が降るなか、たくさんの方が来てくれました。完璧とは言えない絵を描き上げ、鏡で見てもうとすぐ喜んで下さったので、こちらも嬉しくなり、心温まる瞬間でした。

練習会の度に女性会の方々のおいしい手料理の数々をいただいたり、参加しなければ会って話をする事もなかっただろう方達と楽しく過ごす事ができたりと、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。このような機会を与えて下さった女性会の皆様と義母さんに感謝し、この場をお借りしてお礼を言わせていただきました。ありがとうございます。

追記

フェイスペイントについて

ブティック トランタン

市原伸子

例年、白井ふるさとにぎわい祭りのお手伝いには参加させていただいておりましたが、今年は一歩進んで、「お祭りを楽しんでいただけける事は何か・・・」と話し合いが行われました。

そんな時、「お祭メイク」の案が出ました。そのうち、フェイスペイントの方が、ふるさと祭りの主旨である「子供達の思い出作り」になり、喜んでもらえるのでは、となりました。早速、実行委員会に提案し、賛成・了承を得て準備が始まりました。

近隣地区のお祭りを見学し、参考にしながら、材料をインターネットで探したり、事前練習会も行いました。



会員さんのお嫁さん、お嬢さんに参加いただいたり、お孫さんにモデルとなつてもらったり、他の地区から応援に駆けつけていただいたり、当日に向けての準備が進められました。

開催してみると、百五十名余りの方々がフェイスペイントコーナーに訪れ、大成功！子供達の笑顔が広がりました。ユーカーフェスタでも同様に開催され、二百名余りの方々の顔や腕などにペイントさせていただきました。楽しいイベントでした。



県外視察研修

三井アウトレットパーク入間
 (株)ロッテ狭山工場

「お客様の立場にたつて考える重要さ再確認」

洋品マツモト 松本富美子



照りつける日差しも強さを増した七月十六日の早朝、県外視察研修が実施され最初の視察先である三井アウトレットパーク入間に向け、出発しました。四月一〇日のオープン当初の休日は、最寄りのインターチェンジから渋滞が続き、入店するまでに相当な時間がかかる、と話題になった最新の商業施設で、とても楽しみにしての参加でした。

ことなく、順調に目的地に到着できました。広大な敷地にゆつたりとした環境のなかモダンな入り口が私達を出迎えてくれました。施設内の二〇〇を超える店舗は、業種ごとに配置されており、ショッピングをされるお客様が見やすく、楽しめるような工夫が随所にちりばめられておりました。お手頃価格の商品もあり、わたしは孫のお土産を買いました。

午後は、次の視察先である(株)ロッテ狭山工場の見学でした。私達は商品製造工程の現場を視察させていただくため、お揃いの白い帽子(女性会特製)と



スリッパを持参しての参加でした。粒ガムが出来るまでの安心で安全なお菓子づくりをするための工程、そして最高の原料・技術・設備等についての説明をしていただきました。食品の製造工場なので、衛生管理は徹底されていて、廊下の所々に塵や埃を取るローラーが備え付けられておりました。ロッテを代表するお菓子「コアラのマーチ」は予想以上に種類が多いことや、製品が完成するまでの創意・工夫にも感心しました。

今回の視察研修で、真摯に向きながら努力を重ねている様子を目の当たりにし、少しでも見習いたいと思いました。

絵手がみ講習会に参加して

アート・レオ 花鳥喜代子

志津地区 H20.10.16

志津地区懇談会の講習会テーマは「絵てがみ」。一度は経験したいと思っていましたので楽しみにしていました。

当日、会場にて山崎美智子先生と廣田紀久代先生から、題材の発表がありました。題材は、「自分自身の手」。

手や指は毎日みているのに、いざ描くとなるととつても、とつても難しい。上手に描こうとすると先に進めない。

下手でもそれがまたなんともいえない「あじになるのヨー」と先生の力強いご指導をいただけただので、「えい、どうにでも



なれ〜」と開き直ることができました。先生、ありがとうございます。

そして出来上がった「手」。な、な、なんと実物よりも、とても美しくなっている〜。

今回は、割ばしと筆を使い書きましたが、何を使っても描けそうですね。何度でも練習してみたいと思いました。

女性会の集りには、なかなか参加することができませんが、出

席してみるとみなさんがしっかりと頑張っている様子を肌で感じます。

小さな歩みですけれども、私も頑張っていこうと思えました。毎日が忙しいなか、何だか「ほっ」とする秋の夜でした。

楽しい時間をありがとうございました。

みんなが学ぶ地区懇談会

「糸を針に通すって

こんなに難しかったっけ？」 川端篤子

白井地区 H20.10.2

白井地区懇談会が白井田防炎集会所にて行われました。内容は「えんどう豆の根付作り」でした。

最初、私は参加者四十六名の受付をさせていただきました。どの会員さんも、日中の仕



事着のまま来られ、仕事に家庭にと奔走する女性会の女性会たる所以を改めて感じました（皆さんもいろいろ大変なんだな〜）。大久保とき子先生のご指導のもと、根付作りが始まりました。皆さんの手元に材料が配られ、見本を見て、「ワー、かわいい

「佐倉」と「女性会」の良さを再発見

(株)鈴木建築設計事務所 鈴木鈴美

佐倉地区 H20.10.28

佐倉地区懇談会の内容は、「佐倉再発見！」とのご案内をいただき、国立歴史民俗博物館の見学でした。地元にも全国でも有数の博物館があるにもかかわらず、「いつでも行けるから」と個人的にはなかなか足が向かなかったことに気付き、参加させていただきました。

同館では特別企画展が「染」と「織」の肖像というテーマで開催されていました。染織品の数々の展示、刺繍ありとみごとでした。それらをもとに、他の服飾へと素敵に仕立て替えられていく知恵、そのものを大切に、大切にして、日本と韓国における染

と歓声が上がりました。作成にあたって、細かな準備を先生が進めておいていただけだったので、これならばすぐに出来るワ！と思っただものの、最初の糸通しに悪戦苦闘。針に糸が思うように通りません。「糸を通すってこんなに難しかったっけ？」と自問自答しながらも、次の作業。きれいな布で豆の芯になるところをくろみます。ボンドで貼り合せて、と作業を進め、何とか最後まで作り終える事が出来ました。

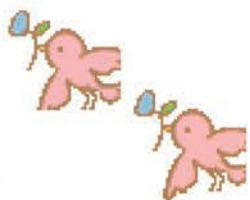
した。作業が早い人も、遅い人も、お互いに協力して、時間内にそれぞれの作品を完成させることができました。皆様の友情に感謝し、次回も行事に参加したいと思えました。有難うございました。

織品の歴史やあゆみを守り継いで行く重要さを痛感いたしました。

当日は、稀にみる秋晴れの清々しい天候に恵まれました。地区懇談会は、参加する事はもちろん楽しい事です。それに加え、皆様と「ワイワイ」「がやがや」と一緒に準備や懇談する機会は、会員同士の連帯感を生み出す良いきっかけになると感じました。



重要な行事であるとお聞きしておりましたが、「佐倉」と「女性会」の良いところをまさに「再発見」することができ、重要性を感じることができました。今後も楽しみにしております。



新人会員紹介

- ①氏名 ②事業所名 ③住所
④電話番号 ⑤ちょっと一言

① 鈴木美智子

- ② カイロ&美容矯正・エステ 桜倶楽部
③ 佐倉市錦木町 1151-15
④ 043-483-3590
⑤ オープンして3年目 女性会の皆様から多くの事を学びたいと思っておりますので、よろしく願います。



① 山口照子

- ② ネイル&ビューティ Joyus
③ 佐倉市中志津 1-16-10
④ 043-309-8005
⑤ 皆さまの美しさへのお手伝いができますらと思っておりますので是非一度ご来店をお待ちしております。



① 飯田悦子

- ② 有限会社飯田製作所
③ 佐倉市小竹 785-3
④ 043-487-6753
⑤ 違う職場の方との交流や、仕事を離れた時間を大切に楽しんでいきたいです。



① 柴田季美代

- ② 栄養倶楽部 志津サロン
③ 佐倉市上志津 1669-33
④ 090-5512-5774
⑤ いつまでも若々しいきれいな身体をつくるためのお手伝いできればと思っています。



私が、花屋として活動を始めたのは十数年前、英国のロンドンへ花留学をした際、そのまま居ついて花店で修業を始めたのがきっかけです。
日本に帰国後は、サラリーマンだった主人のお膝元で、お店をもたず、いわば気楽にお仕事をさせて頂いた気が致します。
数年前、私の仕事を応援してくれました母が亡くなり、その母の声に導かれて、気が付いた

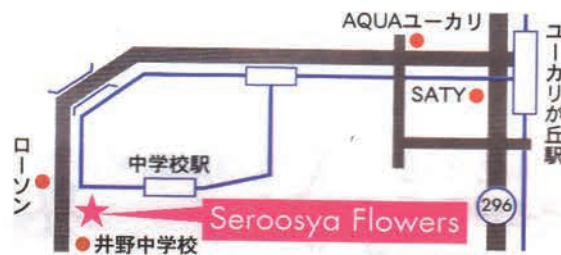


愛
LOVE
ファミリー

セルーシヤフラワーズ
松田由恵

ら宮ノ台でお店を構えておりました。
「三年くらいは、お客様がなくても本でも読んで店番をしよう」という覚悟でした。
開店当時は一人でしたので、ご近所のお客様が心配して昼食を差し入れてくださり、あり難かったです。お客様が増え始めると、一人では手に負えなくなり、思い切つて主人に相談。脱サラで花屋を手伝ってもらう事となりました。これはとっても勇気の要ることでしたが、最愛の主人と、いつも一緒に職場で、という思いがあり、花の名前す

ら知らなかった主人が、だんだん花屋の主人らしくなって、ようやく三年目を迎えます。支えて下さるお客様に感謝しながら、この先も二人で仲良く続けられたら幸せです。



新広報委員の紹介(敬称略)

今期より広報委員のメンバーが新しくなりました。
★編集長・村上マサ代
★副編集長・平野寿枝子
★委員・宍倉昌子、市原伸子、上田節子(新)、松田由恵(新)
退任されました、安里米子様、水落くに子様、お疲れさまでした。